

昭和十年（一九三五）

一月

- ・文芸春秋社が芥川賞・直木賞を設定
- ・三菱重工業 九六式艦上戦闘機を試作
- ・国体擁護連合会 美濃部・末広両教授の攻撃パンフレットを配布
- ・岡田茂吉 大日本観音会を開教
- ・川崎地区赤痢流行
- ・川端康成『雪国』を『文芸春秋』に連載開始 「国境の長いトンネルを抜けると雪国であつた……」
- ・東京く箱根間の往復駅伝
- ・鳥取県境町大火 焼失家屋三三八戸
- ・北滿鉄道譲渡に関する満ソの協定成立
- ・広田外相 日華親善論を発表
- ・町田忠治 民政党総裁に
- ・広島県生野島沖に暴風雨 死者九人 漁船沈没

- ・民政党齊藤隆夫 軍事費の偏りを追及
- ・アメリカで世界初のビール発売

二月

- ・湯川秀樹（大阪帝大講師）中間子論を発表
- ・文部省 中学入試に難問を出すな、小学教科の範囲内でと通達
- ・荏原製作所 組合員一六〇人スト
- ・廃娯同盟が国民純潔同盟に
- ・恵那ラジウム会社設立 社員全員女性
- ・東京市中央卸売市場築地に開場
- ・十一日 皇紀二六〇〇年記念万国大博覧会開催計画を公表
- ・東京モスリン金町工場 六八七人スト
- ・ハワイで日本人移民五〇周年記念祝典
- ・冷害の石巻市農民 米貸せ運動
- ・美濃部教授の天皇機関説が貴族院で攻撃される（注1）
- ・三菱重工業（株）神戸造船所 七〇馬力のディーゼル機関を完成

- ・日伊間のラジオ交歓放送成功
- ・和光堂 ベビー用粉ミルク脱脂粉乳発売
- ・大日本印刷(株) 発足

三月

- ・産婆の受験資格 高女卒に
- ・岡田首相 天皇機関説反対表明
- ・袴田里美検挙 日本共産党壊滅状態
- ・羽田く江ノ島間飛行三〇円のエアータクシー誕生
- ・日露戦三〇周年祝賀式 宮城前で開催(一九〇五年 日露講和条約)
- ・渋谷駅前の忠犬ハチ公死亡
- ・松竹映画館の弁士・楽士全員解雇決定
- ・東京くベルリン・ロンドン間の無線電話開通
- ・ドイツ ヴェルサイユ条約破棄 再軍備宣言
- ・衆議院で松田文相「日本婦人は夫を授ける女を教育するもので、解放すべきものではない」と答弁

『東京印刷』争議

- ・無期服役中の吉田石松仮出所 無罪を主張し再審請求の末 三八年無罪確定
- ・ドイツで世界初のテレビ定期放送開始
- ・衆議院 国体明徴決議案可決(対天皇機関説)
- ・秋田県の油田から原油噴出
- ・奥むめお「働く婦人の家」創設
- ・横浜大博覧会にテレビ電話登場
- ・法改正で飯米三ヶ月分差押禁止
- ・臨時利得税法公布

四月

- ・「尋常小学算術」使用開始
- ・青年学校令公布
- ・日比谷公会堂でルービンシュタインのピアノ演奏会
- ・満州国皇帝来日
- ・美濃部達吉「天皇機関説」のため不敬罪で告発され、著書も発禁処分(九月十八日起

訴猶予)

- ・国体明徴訓令 全国学校へ通達
- ・京大 渡辺宗太郎の憲法講座 天皇機関説として中止
- ・日産自動車でダットサンのセダン誕生
- ・NHKの学校放送 全国に拡がる
- ・台湾中北部大地震 死者約三〇〇〇人
- ・大日本麦酒(後のアサヒビール)「アサヒスタウト」発売
- ・宮田製作所 軽オートバイ量産開始
- ・帝国在郷軍人会 天皇機関説反対のパンフレットを全国配布
- ・国産品使用の奨励で下駄履き運動拡大

五月

- ・戦前最後のメーデー 六二〇〇人参加
- ・日満間の連絡飛行一日間で成功
- ・暴力団全国一斉検挙
- ・天皇 美濃部達吉の一件について「彼は決して不忠な者ではないと思う。今日、彼ほ

どの人が一体何人 日本にいるか」と発言 『西園寺公と政局』岩波書店刊行より

- ・北海道茂尻炭坑ガス爆発 死者九二人
- ・渡辺宗太郎 高文試験委員から機関説故に排除
- ・日中両国公使を大使に昇格
- ・三菱電気(株) OP磁石の特許取得
- ・新日本海員組合結成
- ・民政党 政友会と分かれる
- ・文部省 帝国美術院を官制に 横山大観ら会員一四名が反発辞職表明
- ・道路交通標識 全国統一に
- ・日産 豊田の各社 自動車生産活発
- ・第一回映画コンクール

六月

- ・NHK 海外放送開始
- ・国鉄 女車掌を初採用
- ・チャハル事件発生(五日 華北の宗哲元軍が関東軍員らを逮捕)

- ・ シヤム（現在のタイ）少年団 上野動物園へインド象を贈る
- ・ 吉岡隆徳 一〇〇mを一〇秒三の世界タイ記録
- ・ 中華民国国民政府 華北問題で日本側要求を承認（十日）
- ・ 英独海軍協定成立
- ・ 日本アルミニウム（株）設立
- ・ 関東軍 宗哲元軍のチャハル省撤退を要求し承認（二十七日）
- ・ 通信省 テレビ電話の実験成功
- ・ 西日本豪雨 死者不明一五〇余人
- ・ 第一回日本サッカー選手権大会
- ・ 早慶戦の観客約六万人 内野席一円五〇銭が闇値十倍 外野席三〇銭が一五倍と報じられる
- ・ 花王石鹼 ホームクレンザー（磨き粉）の販売開始
- ・ 大阪のチンドン屋 六〇〇〜七〇〇人 弁士・楽士の追放による
- ・ 職業婦人の最高月収はタイピスト 約四五〇円
- ・ 親子心中相変わらず絶えず

七月

- ・ 東京〜千葉間 電化完成
- ・ 小豆島沖で航路船衝突沈没 死者八六八人
- ・ フランス 人民戦線結成
- ・ 東京の各新聞社 日曜夕刊廃止
- ・ 大阪角一ゴム争議
- ・ 大森の昭和製作所賃上げ要求スト
- ・ 将棋の名人戦開始
- ・ 朝鮮の日鋳製錬所スト 一五〇〇人以上
- ・ 静岡清水地方激震 家屋倒壊二〇〇余戸
- ・ 大審院 家族間の脅迫も暴力行為取締規則違反と認定
- ・ 八高と四高の野球試合で応援団同士が乱闘し試合中止
- ・ 陸軍の統制派と対立していた皇道派の真崎教育総監罷免 後任は中立的な渡辺錠太郎
- ・ 東京の中学教員大会 修業年限短縮反対決議
- ・ 特急「富士」に風呂付列車（入浴料三〇銭）
- ・ 横浜生糸市場盛況
- ・ 渡米していた東京ジャイアンツが先方のプロと対戦 七三勝三一敗一引き分け

- ・政友会 天皇機関説排撃決議
- ・村中孝次ら「肅軍に関する意見書」を配布し免官に発展

八月

- ・警視庁無線パトカー使用開始
- ・中共抗日救国宣言（八・二宣言）
- ・政府「国体明徴」を声明 日本は神国で万世一系の天皇が統治する天地と共に無窮と
いうもの
- ・神宮プールで日米水上競技大会 二〇〇m平泳ぎで小池礼二 世界新記録
- ・皇道派の相澤中佐 統制派の永田軍務局長を刺殺（注②）
- ・大阪で建築工事騒音訴訟で住民側勝訴
- ・国粋大衆党総裁笹川良一ら一〇名恐喝で起訴
（株）池貝鉄工所 超高速旋盤H型を発表
- ・パリの英仏伊三国会議決裂
- ・横浜市で初の自動信号機設置
- ・日本西部産業労働組合結成

- ・東北地方豪雨 死者不明二〇〇人
- ・愛知県の豊川鉄道争議

九月

- ・第一回芥川賞に石川達三の『蒼氓』直木賞に川口松太郎の『鶴八鶴次郎』と決定
- ・関東大震災第一三回忌大法要
- ・旭硝子で初の磨き板ガラス製造
- ・林陸相 相澤事件等の責任をとり辞任 後任に川島義行
- ・九州帝大グライダー飛行 長時間の日本記録
- ・明治製菓で初のチーズクラッカー発売
- ・岸和田紡績でスト
- ・新潟新発田町大火 焼失約一〇〇〇戸
- ・第一高等学校 駒場に移転
- ・全国学生水上競技大会で牧野正蔵八〇〇m自由形で九分五五秒の世界新記録
- ・住友金属工業設立
- ・東京株式市場 出来高新記録（一一六万六〇〇〇株）

- ・美濃部達吉 貴族院に辞表提出 学説は変えないと声明
- ・石油輸入量の六ヶ月分貯蔵義務令公布
- ・仁科芳雄ら電子対発生の研究発表
- ・大阪の「そごう百貨店」竣工
- ・暴風雨関東襲来 死者一九〇人
- ・外交官の国際結婚禁止

十月

- ・第四回国勢調査 内地人口六九二五万四一四八人 外地人二八四四万三四〇七人
- ・青年学校全国で一七七〇〇校
- ・政府 対中国政策要綱決定
- ・全国小学校児童一人一円献金
- ・イタリア エチオピア戦争
- ・第一回全日本アマチュア将棋大会
- ・新橋～渋谷間 地下鉄工事開始
- ・初の女性弁理士誕生

- ・二宮尊徳逝去八〇周年記念祭
- ・日本 エジプト通商会議
- ・勸業債権売出し（一〇円で一等三〇〇円）
- ・大審院 五・二五事件民間側被告三名に判決 反乱罪で禁錮五年から三年
- ・明治鉱業赤池炭坑でガス爆発 死者八〇余名
- ・ガソリン一ガロン当たり二銭五厘の値上げで四六銭に
- ・ロンドン海軍軍縮会議へ参加決定
- ・大阪そごう百貨店完成
- ・ブリヂストンタイヤ ゴルフボールの本格生産開始
- ・東日本豪雨 列車転落死者一二人

十一月

- ・列車内の販売開始
- ・明治神宮体育大会 孫基禎がマラソンで二時間二六分四二秒の世界最高記録
- ・プロ球団「金鯱」誕生
- ・(社) 同盟通信社設立許可

- ・浅間山噴火
- ・日本映画協会設立（映画を統制）
- ・徳川美術館名古屋で開館
- ・日本脳炎が蚊による発症と証明される
- ・上海で中国人が日本商店を襲撃するなど反日事件続発
- ・東京くマニラ間の航空郵便開始
- ・無政府主義者一斉検挙開始 全国の検挙者三五〇余人
- ・全日本労働総同盟発足
- ・中央卸売市場魚類部開業
- ・新日本海員組合スト
- ・豊田自動織機（後のトヨタ自動車）国産トラック第一号「G1型」完成
- ・政府 満州国の国幣価値安定に関する声明を発表
- ・高橋蔵相 軍事予算で陸軍と対立
- ・日本ペンクラブ結成 会長島崎藤村
- ・二十八日 正仁親王誕生
- ・東京府中競馬場完成
- ・高松く高知間鉄道開通

十二月

- ・初の年賀切手発売 渡辺崋山の「富嶽の図」一銭五厘 三億三〇〇〇枚突破
- ・大本教幹部三〇名 不敬罪などにより検挙
- ・日英米仏伊による第二次ロンドン海軍軍縮会議
- ・プロ球団大阪タイガース誕生
- ・十和田湖 富士 吉野 熊野 大山が国立公園に
- ・上野く松戸間の省線電車開通
- ・天理教を脱税容疑で捜索
- ・同盟通信社創立
- ・鐘紡兵庫工場 初の一日六時間労働制を導入
- ・神奈川県で火災保険勧誘員などの放火団四九人検挙
- ・年賀状特別扱い二億五〇〇〇万通突破
- ・日劇地下に初のニュース・短編映画専門館誕生
- ・含鉛化粧品の販売、陳列、貯蔵禁止

その他

- ・ 男性の平均寿命四四・八歳 女性四六・五歳
- ・ 三菱重工 初のディーゼルバス「ふそうB D四六型」発表
- ・ 女性の洋装 細身のロングスカート、靴はパンプス、短髪流行
- ・ 街頭ラジオ普及
- ・ 商家の年越そばが一般家庭に波及

(注1)

二月十八日の貴族院本会議でのこと。右翼の菊池議長が、東大教授で貴族院議員美濃部達吉の著書『逐条憲法精義』と『憲法撮要』等は日本の国体尊厳を冒瀆し、統治の主体が天皇にあらず国家にありというのは天皇の統治権を否定するもので、発禁処分すべきだと非難し、彼は反逆者で学匪だと痛罵した。これに対し美濃部教授は次のように反論した。

「反逆者ト言ハルルノハ、此上ナキ侮辱デス。トウテイ忍従シエナイ」

「国家ソレ自身ヲ一ツノ法人ト観念イタシマシテ、天皇ハ此法人タル国家ノ元首タル地位ニ在リマシ、国家ヲ代表シテ国家ノ一切ノ権利ヲ総攬シ給ヒ、天皇ガ憲法ニ従ツテ行ハセラレマスル行為ガ、即チ国家ノ行為タル効力ヲ生ズルト云フコトヲ言ヒ現ハスモノデアリマス」

もちろん軍は、菊池議長の主張にのって、政府に教授の嚴重な処分を申し入れた末、教授の右著書は発売禁止となった上、不敬罪に該当すると告発されるまでに至った。教授は貴族院議員の職を棄てるが、自説は曲げられないと主張、告発事件も起訴猶予となつて一応の收拾をみた。この処分は不敬罪を認めるものだけに、罪とはならない活発な議論が広がらなかったのは残念だったが、やはり時代がそうさせたのだろう。もの言えば唇寒し……。

(注2)

当時陸軍内では、皇道派と統制派が何かにつけて対立を続けていた。結束して強化を図るべき陸軍がこの始末。林陸相は人事刷新をと皇道派の真崎教育総監に辞任を求めたが総監は容易に応じず、この職は大元帥によって親任されていると強硬に主張したが、上部の圧力は強く、遂に罷免されるに至った。

統制派の中心的人物に永田軍務局長がおり、皇道派では陸相の行う人事に同局長の関与が深いとみていた。そして真崎総監が辞任に追い込まれたのは統帥権の侵害だとし、

こうした事情から皇道派の福山連隊付相澤中佐が上京、永田局長を「天誅」と叫んで刺殺するに至った。同中佐の公判には青年将校らの法廷闘争で激しく減刑を要求したが、銃殺処分に終わっている。

犯行時、側にいた山田大佐は、事犯を防止できなかったことから自刃しており、両派對立のすさまじさを見せている。

この四月、私は小学校に入学した。尋常高等小学校尋常科一年生である。尋常科は六年制で終了すると中学か実業学校か、高等科（二年制）へと進学する途があった。

小さな町だったから、1km少々の道をみんな徒歩通学した。

左右両側が民家の壁が続いている細い道を通学しながら、何故学校へ通わねばならないのか自問したもののだが、答えは出なかった。

教室では、一つの机に男女一組が並んで座った。先生が入ってくると、級長の「起立」「礼」「直れ」の号令に従って挨拶して授業が始まった。国語の時間では「サイタ サイタ サクラ ガサイタ」「ススメ ススメ ヘイタイススメ」などの読み書き、算術の時間では簡単な足し算、引き算で、たいいていの子はすでに習得している者が多かった。家で予め躰けられていたのだろう。修身という道徳教育もあった。徳性涵養、実践道徳、行儀作法を説くもの。後年、国語、修身はすでに戦争に顔を向けていると指摘したものを讀んでなるほどと思ったが、当時はもちろん、こんなことは毛頭思ってもおらず、次第に兵隊さんに憧れる教育を叩き込まれていくことになる。

四月二十九日は天皇誕生日の「天長節」。全校生徒が講堂に集合し、校長先生が教育勅語を奉読するのを全員頭を下げて拝聴した。

「朕惟フニ我皇祖宗国ヲ肇ムルコト宏遠に……」で始まるのだが、一年生には難し過ぎた。何となく判ったのはほんの数ヶ所で「兄弟二友ニ」「夫婦相和シ」「億兆心ヲ一ニシテ」といったところで全文の解釈を受けた覚えもない。ただ「天皇陛下」と聞くと誰もが直ちに直立不動

の姿勢をとった。ごく自然に行った。思えば、話すことも聞くことも、服装さえも疑うことなく戦争に向っているような時代だった。ベストセラーも『ヒトラー伝』（講談社刊一円五〇銭）となっている。

さて、中学に入る頃までのことは記憶にないことも多く、後年いろいろ調べて判ったことを記すほかはない。

この頃、一間のアパートは、トイレ、台所が共同使用で、家賃は一〇円程度。家具などは贅沢品とみられていた。もつとも、三倍以上高値の高級アパートもあって、喫茶店は増える一方で、東京市内で約一万五〇〇〇店もあったという。当然コーヒーの消費も飛躍的に伸びていった。

開襟シャツにカンカン帽の男が喫茶店に入って帽子をとるとポマード髪、腰掛けは禁じられていたようだから、立ったまま女店員のサービスでコーヒーや紅茶を飲む姿を想像してみる。腰掛けまで禁止とは……。

日本で最初の自動車が製造されたのは明治四〇年といわれ、フォードをモデルにした幼稚なものを一七台造っている。昭和九年になって保有数は約一二万台になり、翌十年には「国産自動車時代 外国会社を衝く」なる新聞の見出しも出て、日産の「ダットサン」や豊田のA1型乗用車が登場する。

忘れられないのは、親戚のおじさんが乗用車でやって来て、勧められるままに乗り込み、興

奮しながら町を走り回るのが珍しく、嬉しさで友達に吹聴したことだ。

盛況を極めた芝居（演劇）は、この頃から次第に映画にのまれていった。残っていく都市の劇場は泣きの涙の営業であった。映画界で名画といえば洋画で、帝劇、邦楽座は週間制、入場料は五〇銭、一日の観客は合わせて平均五〇〇〇人までだったという。これに日劇、日比谷が加わったものの、果していかほどの市民が足を運んだだろうか。

昭和六年に始まった田河水泡（奥さんの高見澤潤子は小林秀雄の妹）の漫画『のらくろ』は、階級章を胸に下げて鉄冑をかぶり、銃剣を携えた黒犬の兵隊さんで、全国の少年を魅了した。もつとも、当初は返品されるなど芳しいことではなかったようだが、四年後のこの年には、実に五〇万部の売り上げをみせたという。

他に子供たちに人気があったのは紙芝居。振り鉢巻をしたおじさんが、太鼓を叩いたり鉦を打ち鳴らしてやって来る。それを合図のように集まってくる子供たちに、小銭と引き換えに酢昆布や飴ん棒を与え、自転車に積んだ箱の中から次々と漫画絵をめくっては、面白おかしく物語るものだが、日中戦争が続くうちに、次第にその姿も見られなくなっていった。

遊びといえばメンコ、ビー玉、将棋の山崩し、碁の五つ並べ、ヨーヨー、缶蹴り遊びなどさまざまで、こちらの方は退屈することなく愉しんだ。

東京く大阪間の汽車は当初一六時間を要したが、この年には時間は約半分ほど短縮されている。

読まれたもの 刊行

新村出『辞苑』 柳田泉『政治小説研究』 和辻哲郎『風土』
石川達三『蒼氓』 島崎藤村『夜明け前』 宇野千代『色ざんげ』
山本有三『真実一路』・『心に太陽を持って』 高見順『故旧忘れ得べき』
尾崎士郎『人生劇場』 吉川英治『宮本武蔵』 菊池寛『貞操問答』 徳田秋声『仮装人物』
鷺尾雨工『吉野朝太平記』 矢田挿雲『太閤記』 岩波書店『露和辞典』 八杉貞利編
少年倶楽部『怪傑黒頭巾』 吉川英治『宮本武蔵』
雑誌『主婦の友』『キング』『婦人倶楽部』『婦人公論』
(創刊)
『世界文化』『日本浪漫派』

映画

『お琴と佐助』 『雪之丞変化』 『丹下左膳』 『忠治売出す』 『妻よ薔薇のように』
『国境の町』 『のぞかれた花嫁』 『人生のお荷物』 『この子捨てざれば』 『葬上』
『アンナ・カレーニナ』 『未完成交響曲』 『外人部隊』 『女だけの都』

歌謡 唄

「二人は若い」 「明治一代女」 「無情の夢」 「上海帰りのリル」 「船頭可愛いや」
「野崎小唄」 「旅笠道中」 「南国の夜」 「お駒恋姿」 「大江戸出世小唄」 「春の唄」
「お柳こひしや」 「別れの曲」 「未完成交響曲」

演劇

- ・華々しき一夜
- ・歌ふ弥次喜多 ロッパ一座有楽座
- ・第一次東宝劇団結成
- ・有楽座開場 東宝劇団公演